

報告日 令和7年11月19日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	栗東市			代表者名	竹村 健
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報政策課	連絡先電話番号	077-551-0101
担当者役職	係長	担当者氏名	伊藤 大揮	連絡先E-mail	
住所	520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目1 3-3 3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	書かない窓口の導入に向けた支援		
概要	「書かない窓口」システムの導入に向けて次年度の予算要求を行うが、要求内容を決めていくにあたりこういった取り組みを行うのが最適か、アドバイザーのご経験や、国や全国の取り組み状況も踏まえ助言をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 行政手続オンライン化 その他				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	610	令和7年11月14日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月16日	支援・助言&講演(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420

2-2.

派遣場所	会場名	栗東市役所内会議室	最寄駅	手原駅
	所在地	栗東市安養寺一丁目1 3-3 3	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体の職員として多くの取り組みを実施されており、更に他自治体への支援の経験も豊富にお持ちであるため、本市の実情に即した形で適格な助言や支援をいただくことができた。また、システムの導入に向けて窓口利用体験調査や業務改革を進めていくことの重要性を認識し、今後取り組んでいくべき活動のイメージを持つことができたほか、ワーキンググループ全体の機運も高めることができた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	16人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	16			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	書かない窓口システムの導入を推進体制を整備した上で進めていくこととなっているが、窓口フローの見直し等、具体的にどのような作業を行うのが理想的か、職員でのノウハウが不足している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・窓口業務等の見直しを行ったうえで本市の運用に適した「書かない窓口」システムを導入し、窓口での待ち時間の短縮などにより、住民の利便性向上を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	午前：ワーキンググループのコアメンバーに向けて窓口業務改革や窓口利用体験調査を実施することの重要性について助言を受けた後、同じメンバーとアドバイザーとで窓口利用体験調査を試験的に実施。  午後：ワーキンググループの全メンバーに対し、今後取り組むべき内容や都城市の取り組み例についてのアドバイス、試験的に行った窓口利用体験調査についてのコメント等をいただく。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	・書かない窓口の導入に向けてワーキンググループで今後取り組むべき内容が分かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 窓口業務の課題の一部を抽出することができた。また、システムを導入する前に業務改革を行う必要があることの機運を醸成することができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ワーキンググループへの助言という形での支援を想定していたため、アンケートは実施しませんでした。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する アドバイザーからの支援内容を踏まえ、次年度のワーキンググループの年間スケジュールを作成し、活動に必要となる予算を計上する。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	書かない窓口システムを導入し、住民の記入作業・待ち時間の省略化や職員の業務の効率化を図る。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year\\_all houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/)

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

